



# 教育研究所って どんなところ?

～ 教育研究所での生活 ～

発表者: 2025年度入所 第79期 1年次研究員

## <2025年入所 第79期 1年次生>



長野市、須坂市、佐久市、千曲市より通勤



テーマ2:子どもの学びが深まる授業づくり

\*学びや対話を通して、個人課題を焦点化。

## 〈研究所 1日の流れ〉

08:30 始業

★電車の時間等、柔軟に対応★

08:50 朝礼

朝礼後、研修スタート

10:00 テーマ研・講義

豊かな学び  
贅沢な時間

12:00 休憩



12:45 研修・研究

★学びを研究員で対話・共有★

16:30 終礼

17:00 終業

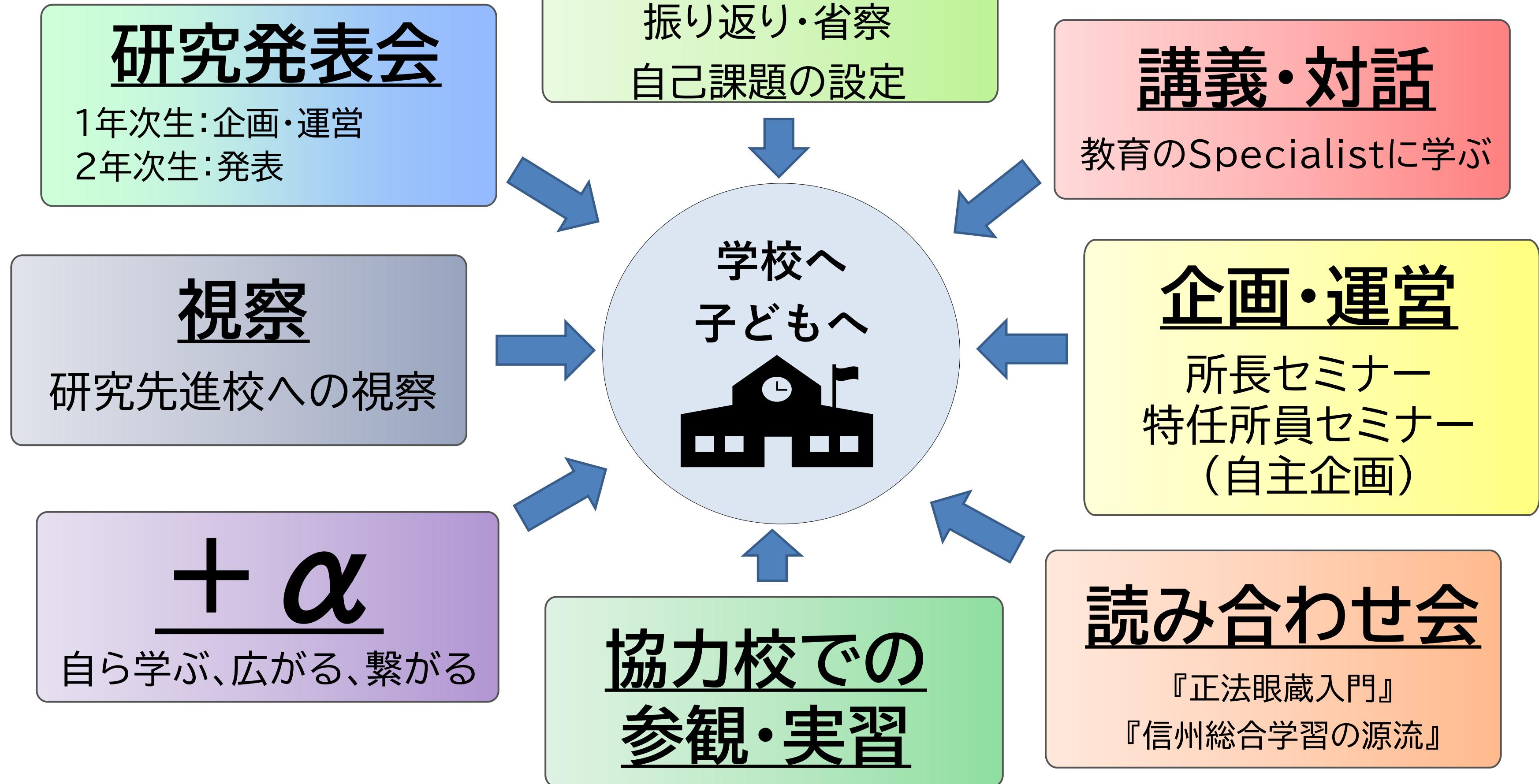
★退勤★

教師と子どもの距離が変わると、教室が変わる



**研究所で、何してるので？**

# 〈研修内容〉

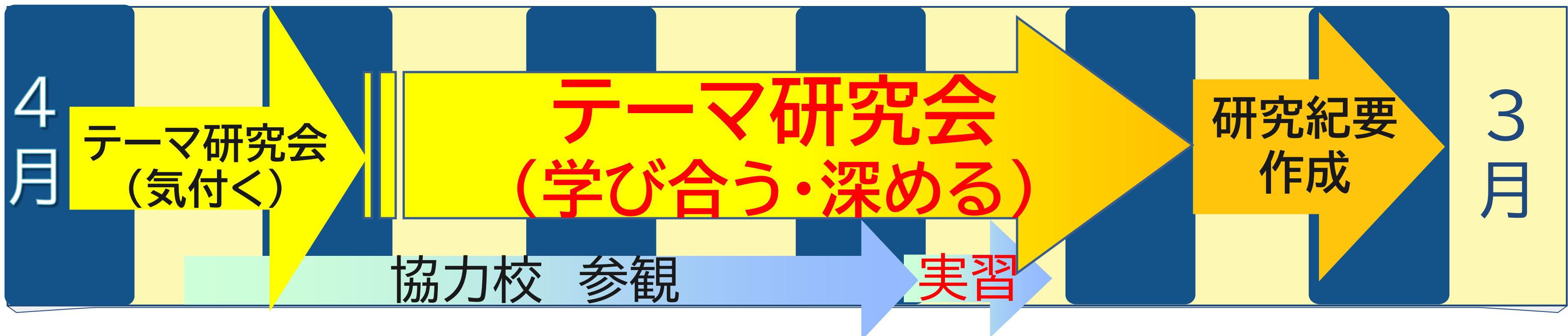


# 〈1年間の流れ(テーマ研・講義)〉

研究発表会  
(2年次、全6回)

中間報告会  
(10月)

最終報告会  
(3月)

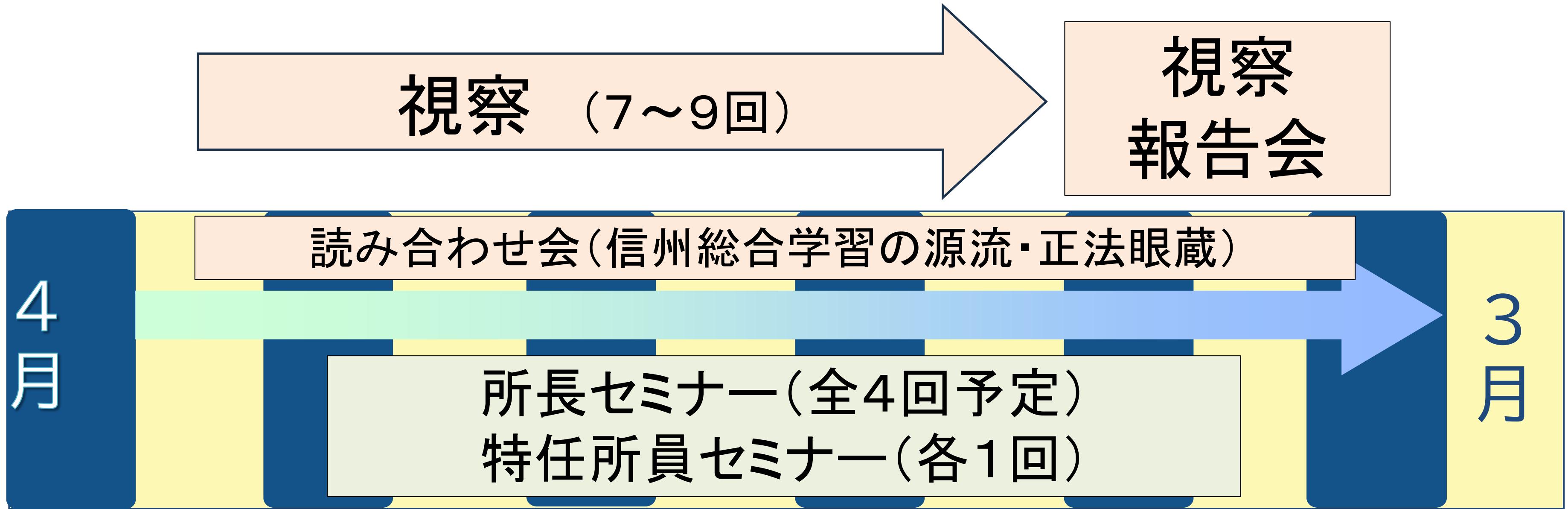


所長講義  
(全6回)

特任所員講義  
(全8回)

その他講義  
(会長・部長等)

# 〈1年間の流れ(視察・読み合わせ会・企画運営等)〉



多くの出会いや新たな発見へ

+  $\alpha$

自ら学ぶ、広がる、繋がる

**実践し  
省察する  
コミュニティ**

~2年間の学びの  
流れと仕組み~

福井大学連合教職大学院は、  
21世紀の学校教育を担う教員の  
専門性を高めるために、  
様々な取り組みを通して  
学びを深めています。  
1年間の活動を紹介します。



福井大学大学院 連合教職開発研究科  
福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学（連合教職大学院）

# 福井大学連合教職大学院

**教職修士取得可能**

**オンライン上の討論**



# 研修内容の紹介

## テーマ研究会 自己のテーマを明らかにする4~9月

この子は  
何を感じ、何を考えて  
いたのだろう？

この時私は  
どのような思いで  
そこにいたのだろう？

自分自身の実践の振り返りをもとに省察したこと  
をレポートとしてまとめ、所長、部長、研究員との  
対話を通して、一人ひとりのテーマを深める場

# 実際の様子



✓ 月に1回程度実施  
✓ 研究員のみで行う  
ミニテーマ研も実施

## テーマ研を通して問い合わせてきたこと

- ・ そこで起きていたことはなんだつたのか？
- ・ 子どもの「本当の思い」に迫っていたのか？
- ・ その子の思いと教室をつなぐには？
- ・ その子と創る教育とは？
- ・ その子と場がどのように連環していたのか？

# 講義・対話

## ～所長講義～



# 子どもとわたし 子どもと子どもの世界を じっくりと編み直す



**講義・対話**  
～特任所員講義～

**教育のスペシャリストから  
専門分野を学ぶ**

松木 健一 先生



奈須 正裕 先生



高柳 充利 先生



# 講義・対話

## ～県教育長のお話～

県教育長 武田先生にも  
お越しいただきました



# 企画・運営

## 所長・特任所員セミナー

令和7年度  
信濃教育会教育研究所

### 岩川直樹公開セミナー②

<講師>  
信濃教育会教育研究所 所長  
**岩川 直樹**  
埼玉大学教授

～テーマ～  
**学級づくりのプロセスを分かち合う その2**  
～個の変容と場の変容～

7月29日（火）  
午前の部 10:00～12:00 対面またはオンライン  
午後の部 13:00～15:00 対面のみ  
終了後、参加者のご相談も可能です。

岩川直樹所長が、前回に引き続き「学級づくりのプロセスを分かち合う」をテーマに、学級づくりについて参加者の皆さんと共に考えます。  
※第1回セミナーに参加していなくても参加可能です。第1回の続きではありません。  
※信濃教育会HP「会員のページ」に第1回セミナーのアーカイブがあります。ご覧ください。

二次元コードが読み取れない場合やご不明な点は教育研究所へご連絡ください。  
信濃教育会教育研究所  
TEL:026-232-7169

※申込書に記載される個人情報は『公益社団法人信濃教育会個人情報管理規定・個人情報保護に関する方針』に基づき、本講座のために使用するものであり、その他での使用は一切ありません。

参加申し込みはこちら  
  
7月22日(火) 申し込み〆切

### 信濃教育会教育研究所 松木健一 公開セミナー

～テーマ～  
**子どもに寄り添うインクルーシブ教育**

福井大学客員教授（元福井大学副学長）でいらっしゃる松木先生のお話を聞きし、教育に関わる方と共に悩み、明日からの実践に役立つ話を共有する機会です。どなたでも参加可能です。皆様のご参加をお待ちしております。

日付 2025年9月11日（木）  
時間 16:00～17:00  
(入室開始 15:45)  
オンライン開催  
※信濃教育会館での対面参加も可能です

お申し込み・お問い合わせ

右記の二次元コードからお申し込みください。  
コードが読み取れない場合やご不明な点は教育研究所へご連絡ください。

信濃教育会教育研究所  
TEL:026-232-7169

※申込書に記載される個人情報は『公益社団法人信濃教育会個人情報管理規定・個人情報保護に関する方針』に基づき、本講座のために使用するものであり、その他での使用は一切ありません。

信濃教育会教育研究所

### 高柳充利公開セミナー

【テーマ】子どもの“もう1回！”から考える絵本の魅力

10月2日（木）16時～17時  
対面：信濃教育会館  
オンライン：入室15時45分～

“もう1回読んで！”の中にある  
子どもの心を掴む絵本の  
魅力や価値とは？  
絵本が大好きという方も  
これから読んでみようかなと  
思う方もぜひご参加ください♪

お申し込みは二次元コードから  
締め切り9/24（水）

講師  
特任所員  
**高柳充利**  
(信州大学准教授)

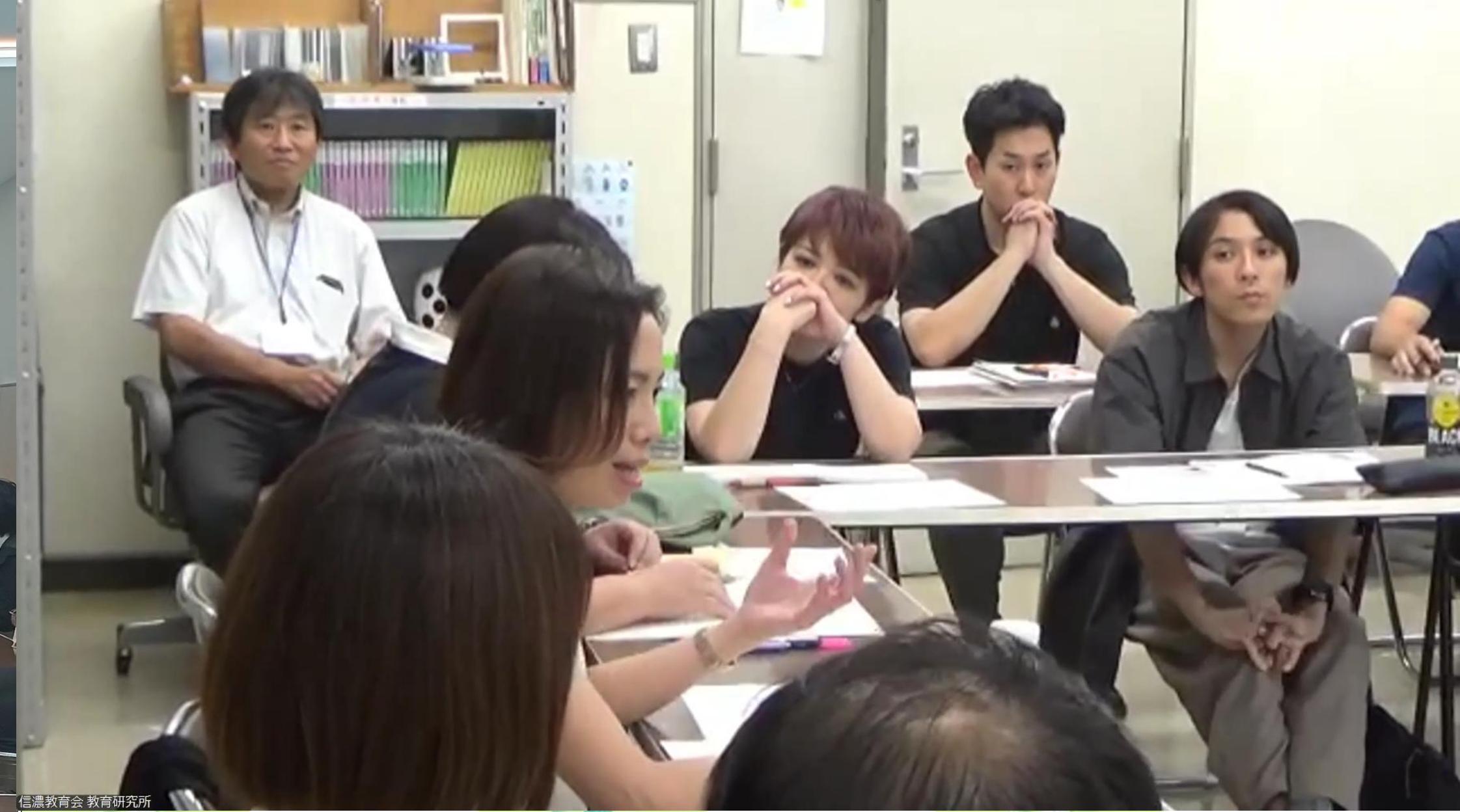
“もう1回”的絵本

(1) 高柳先生のお話  
子どもが面白いと感じたときに出る  
“もう1回”という言葉。この言葉の  
深みと一緒に考えてみましょう。

(2) 参加者同士の対話  
※テーマにあわせて、紹介したい一冊、  
エピソードお手元に、または心にご用意  
ください。

他の問い合わせ先  
信濃教育会教育研究所  
kenkyujo2@shinkyo.or.jp

※申込書に記載される個人情報は『公益社団法人信濃教育会個人情報管理規定・個人情報保護に関する方針』に基づき、本講座のために使用するものであり、その他での使用は一切ありません。



# 夢みる小学校

第33回  
日本映画  
批評家大賞  
ドキュメンタリー部門

ナレーション  
吉岡秀隆

エンディングテーマ  
ザ・ブルーハーツ

監督:オオタ ヴィン  
「いただきます」シリーズ



自分のままで  
いいんだよ

## 完結編

テストがない、通知表がない、先生がない『夢みる小学校』。  
成長した中学生たちを追加・再編集した『夢みる小学校 ニューヴァージョン』です。



信濃教育会館で  
「夢みる小学校」を見よう！

# 2年次生との学び

## 研究発表会

1年次生：企画・運営  
2年次生：発表

発表をきっかけに  
現場の先生方と学び合う  
大切な研修の場です！



- 岩川所長によるご挨拶
- 研究員の発表
- 発表をきっかけとした小グループでの対話

発表者も参加者も日頃の悩みを語り合います！

D生はどうしたいのだろう？

（D生に寄り添いたい私は…）

## オンラインによる 研究発表会



学校職員の研修の場として



上伊那教育会館での発表会

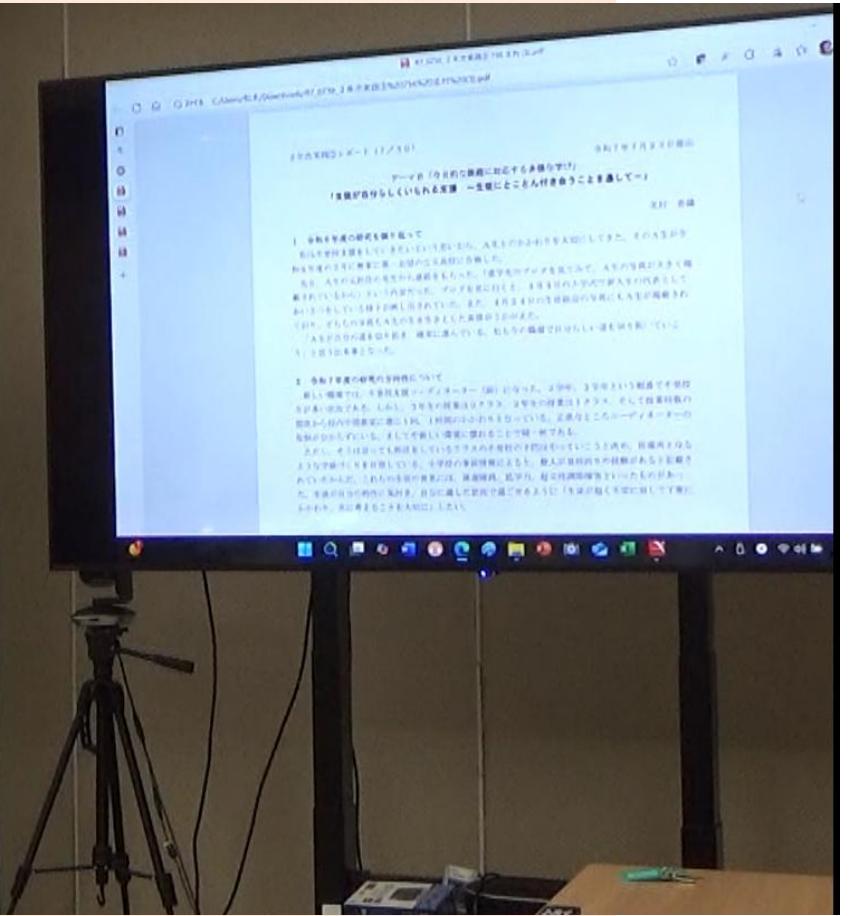


信濃教育会館での発表会

# 2年次実践研究

1年次生：2年次生から学ぶ

2年次生：現場に戻っての実践発表



○現場に戻った2年次生が研究テーマの実践を発表。  
○所長や特任所員の先生からのご指導と、仲間との意見交換で学びを深める。

# 新しい時代の教育研究調査委員会

1、2年次生：各郡市の代表の先生方とともに学び・発表

子どもたちが学校で  
やりたいことは？  
学校はどうあつたら  
良い？



# 研究先進校への視察

全国の学校から学ぶ

個別  
最適化

学びの  
共同体

各教科の  
特色ある  
授業

総合・地  
域とのか  
かわり

探究的  
な学び

- 自分で計画して、学びたい先進校へ！
- 特任所員の先生方からも、様々な先進校を紹介していただけます。

○ 目黒区立中目黒小学校  
● 観察した理由は?  
- 学校内自由度学習の取り組みを観察するため。  
- 40分授業の特色を生かし取組みを見たため。  
- 運動会の学年ごとに興味があるため。  
● 観察した感想  
- 教育体制で自由度学習を工夫して進めていることが実践された。子どもたちが、リポートを書くことで、課題内容をまとめてあらかじめ行動的だため。

○ 伊那市立伊那小学校  
● 観察した理由は?  
- 子どもたちが生活の場で見る動物、異なる取り組みを見たため。  
- 子どもの日常生活の豊かな生活、統合性をもたらすため。  
- 伊那小の先生達が実践的構造を理解し、導くため。  
● 観察した感想  
- 子どもの児童を出発点に、様々な活動が展開されているのが印象的だった。先生の言葉がかけられ、子供たちも元気な言葉を温かく、穏やかな空気が流れていたことを感じた。

○ 宝仙学園小学校  
● 観察した理由は?  
- アドバイロードで先進的に活用している様子を見たため。  
- 全教科で専科統合して授業の様子を見たため。  
- 学校の取り組みから、公立にまわせることを学びたがため。  
● 観察した感想  
- プロジェクトで、教室内にICTが活用されないため、多くで文房具の一つとして子どもたちが自ら選んで取り扱うため。「自分たちで使う方がいいのか」これが文房具を自分で選んでいた。

○ 川崎市立川崎小学校  
● 観察した理由は?  
- 併別最適な学びについて研究していくため。  
- 子どもが多くの学校で何が実現されたかため。  
- 全員参加、全員手の授業を見たため。  
● 観察した感想  
- 全員が積極的に発言や手を挙げて討論、意見交換をしていて、仲間の発言にもとても尊重する文化が見られた。川崎の学校印象がよろしくなった。

○ 信州大学附属長野小学校  
● 観察した理由は?  
- 総合的な学習の取組み方をため。  
- 子どもが内からも外からも大切にした授業をため。  
- 総合的な学習カリキュラムが実現されたため。  
● 観察した感想  
- 総合的な学習で多くの子どもたちが自分の意見を出し合っているようだった。特に文房具が豊富なところが印象的だった。雪国の学校環境が寒いながらでもさわやかで、子どもたちが楽しそうに学んでいたみたい。研究員 田牧 小林



視察後は、  
得た学びを  
を共有。

1階ロビーにも  
掲示しております。  
ぜひご覧ください！

研究所だからこそ  
できる学びがある！



仲間と共に 成長できる  
それが  
教育研究所です。

